

生活排水処理実施計画

令和 7 年 4 月

愛知県南知多町

はじめに

本町は、愛知県知多半島南部に位置し、半島の先端と沖合に浮かぶ篠島・日間賀島などの島々からなっている。北は美浜町、東は三河湾、南西は伊勢湾に面し、町域は東西に 15.0 k m、南北に 12.1 k m で総面積 38.23 k m²、総人口 15,506 人（R 6.12.31 現在）を有しており、昭和 36 年 6 月に内海町・豊浜町・師崎町・篠島村及び日間賀島村の 5 か町村が合併して誕生した町である。

北西部の伊勢湾側には半島最高の高峰山（128m）があり、北部に低く南部に高い地形となっている。町全体に小高い丘陵が広がっており、農地造成が進められてきたが、平地は海岸部の一部に限られており、市街地は港を中心とした平坦地に発達してきた。したがって河川は短く、水量も少ないため、ため池等が多くある。

また、本町は市街化区域を除く地域が三河湾国定公園、南知多県立自然公園に指定されており、海と深く結びついた特色ある歴史や伝統文化、水産業や農業など産業面での資源も豊富な観光地である。春は潮干狩りと磯歩き、夏は海水浴、秋はみかん狩りとハイキング、一年を通じて楽しめる海釣りや活魚料理が観光の中心をなしている。

気象も太平洋気候区の温暖な気候であり、年平均気温は約 17.1℃、降水量総量 1,683.5mm（R 5 年実績）となっており、雨季を除き晴天の日が多く、積雪もほとんどなく、恵まれた気象条件にある。

本町の生活排水は、前述のとおり市街地が沿岸部の平坦地に形成されているため、密集した市街地内の道路側溝をゆっくり流れ、川や海へ直接放流されている。特に観光客の集中する夏季は側溝や川から発散する悪臭、川や海の水質汚濁が懸念されている。

美しい自然環境と豊かな海洋資源に恵まれた本町にとって、悪臭や水質汚濁は観光や水産業を振興する上での大きなマイナス要因となりかねず、悪臭防止と水質浄化の早急な取り組みが必要である。

生活排水の処理形態としては、一般的にはし尿と生活雑排水を併せて処理する公共下水道を始め、合併処理浄化槽、農業集落排水施設、漁業集落排水施設、コミュニティ・プラント等の施設と生活雑排水だけを処理する生活排水処理施設とが考えられるが、地域の特性を踏まえた最も効率的かつ経済的なシステムを選択することは財政力の弱い本町にとって非常に重要となる。

これら施設の整備と運営には多額の経費を要し、また町村合併により誕生した町であることから旧町村単位に集落が散在している状況を勘案し、ここに生活排水処理実施計画を策定するものである。

(1) 水の処理に関する基本方針

- ① 水質汚濁の主因である生活排水の浄化対策を町民に呼びかけ、水質保全に関する意識の高揚を図る。
- ② 放流水の水質のよい高性能な合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の普及促進により、河川、海の浄化を図る。
- ③ 浄化槽その他の生活排水の処理施設の適正な維持管理の指導、推進を図る。
- ④ 町・町民一体となった側溝・排水路等の清掃活動を推進する。

(2) 合併処理浄化槽、コミュニティ・プラント、生活排水処理施設、下水道等により生活排水を処理する区域に関する事項

- ① 平成30年度に全県域污水適正処理構想を変更し、下水道推進方針を転換し、合併処理浄化槽による污水处理を進めていくこととした。
- ② 現在、漁業集落排水事業を推進している日間賀島地区以外の町内全地区に合併処理浄化槽を普及することにより対処する。
- ③ 合併処理浄化槽の普及については、くみ取便所及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進めることで、污水处理人口普及率を上げていく。

(3) 汚泥の収集、運搬及び処理、処分に関する事項

- ① 合併処理浄化槽を始めとする浄化槽等から発生する汚泥は、半島部については、浄化槽清掃と併せて町の許可業者が収集、運搬し、知多南部衛生組合（美浜町と南知多町の2町で構成する一部事務組合）の衛生センター（し尿処理施設）にて高度処理する。
また、離島部については、町の許可業者が収集、離島から半島へは町が委託により運搬し、知多南部衛生組合の衛生センターで高度処理する。
なお、知多南部衛生組合の衛生センターで処理した汚泥及び日間賀島漁業集落排水の汚泥については、知多南部広域環境センターで焼却処理する。
- ② 知多南部衛生組合のし尿処理施設は、平成10年3月に竣工し、高負荷脱窒素処理方式＋高度処理設備を備え、処理能力 76.9k l /日（し尿 19 k l /日 浄化槽汚泥 57.9k l /日）の施設である。

(4) 目標値について（計画期間：令和３年度～令和７年度

目標年次：令和８年）

令和元年度における、合併処理浄化槽設置人口は 5,001 人であり、これを目標年次までに 6,170 人へ増加させる計画である。計画は別表１のとおりである。

別表１（【 】内の数字は令和７年度分）

浄化槽設置整備事業（令和３年～令和７年）						
			人槽	基数	処理人口 の設定値	処理人口
半島側	新築 （転入、アパート からの転居等）		５人槽	30 基 【４基】	２人	60 人 【８人】
			７人槽	20 基 【３基】	４人	80 人 【12 人】
	新築 （単独槽・汲取り便所から の建て替え、転居等）		５人槽	35 基 【４基】	２人	70 人 【８人】
			７人槽	30 基 【４基】	４人	120 人 【16 人】
			10 人槽	10 基 【１基】	６人	60 人 【６人】
	転換 （単独槽・汲取 り便所からの 転換）	単独槽 から	５人槽	40 基 【２基】	２人	80 人 【４人】
			７人槽	60 基 【６基】	４人	240 人 【24 人】
		汲取り 便所から	５人槽	20 基 【２基】	２人	40 人 【４人】
			７人槽	55 基 【３基】	４人	220 人 【12 人】
離島	新築 （転入、アパート からの転居等）		７人槽	５基 【０基】	４人	20 人 【０人】
	新築 （単独槽・汲取り便所から の建て替え、転居等）		７人槽	５基 【０基】	４人	20 人 【０人】
	転換 （単独槽・汲取 り便所からの 転換）	単独槽 から	７人槽	５基 【１基】	４人	20 人 【４人】
合計				315 基【30 基】		1,030 人【98 人】

知多南部衛生組合 知多南部衛生センター（し尿処理施設）の概要

組合を構成する町	南知多町・美浜町
施設の名称	知多南部衛生センター
施設の所在地	知多郡美浜町大字豊丘字元林 20 番地の 33
処理方式	高負荷脱窒素処理方式＋高度処理設備
処理対象人口 (R6. 12. 31 現在)	36,058 人（計画期間：R7. 4. 1～R8. 3. 31） 美 浜 町 20,552 人 南知多町 15,506 人 半島側 12,428 人 離島側 3,078 人
処理能力	76.9 k1/日（し尿 19k1・浄化槽 57.9 k1 H19. 4. 1 変更）
竣工	平成 10 年 3 月
設計・施工	三菱化工機(株)

日間賀島浄化センター（漁業集落排水施設）の概要

事業主体	南知多町
施設の名称	日間賀島浄化センター
施設の所在地	知多郡南知多町大字日間賀島字浜側 71
処理方式	回分式活性汚泥
処理対象汚水	生活雑排水（し尿及び生活雑排水）
計画処理対象人口	5,800 人
計画汚水量	日平均汚水量 1,566 m ³
計画水質	BOD 流入水質 200 mg/ℓ 処理水質 20 mg/ℓ
接続率	97.49%（R5. 3. 31 現在）
供用開始	平成 15 年 8 月 1 日
設計 施工	(財)漁港漁村建設技術研究所 五洋建設(株) 東武産業(株)

収集・運搬計画

廃棄物の種類		し尿	
		し尿	浄化槽汚泥
収集運搬の主体		廃掃法 7 条許可業者(両島は委託業者)	廃掃法 7 条許可業者・浄化槽法 35 条許可業者(両島から半島への運搬は委託業者)
収集運搬する廃棄物の量(トン)		1,401	11,799
収集区域		地区内全域	地区内全域
収集回数		月 1 回から 2 回	年 1 回から 2 回
収集の方法		許可業者各戸収集(両島は委託業者)	許可業者各戸収集
搬入 先別 搬入量	知多南部クリーンセンター ごみ処理施設(トン)		
	知多南部クリーンセンターリ サイクルプラザ(トン)		
	知多南部衛生組合 最終処分場(トン)		
	業者処理		
	知多南部衛生センター (キロリットル)	1,401	11,799
収集運搬機材の種類等		許可業者 し尿 2 業者 浄化槽汚泥 3 業者 委託業者 1 業者	
収集運搬機材の整備内容			